



おすすめ本の読書マラソン


八尾市立上之島中学校

教科	特別活動	単元名	おすすめ本の「読書マラソン」
----	------	-----	----------------

本単元で育む主な情報活用能力

F-STEP 3 F-STEP 4

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- ・自分が読んだ本の内容や魅力を相手に伝えるために、情報を整理し、まとめる。
- （学校図書館等の活用でつきたい力）
- ・おすすめ本の面白さや魅力を知り、それを他者に伝える。
- ・読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づく。

単元における学習の展開（全 2 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・取組みについてのめあてを知る。(☆) ・おすすめ本を 1 冊決め、紹介文を作成する。(☆)
第 2 次 (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で作成した「おすすめ本の紹介文」をもとに 6 人班の中で、一人ずつ発表練習をする。(☆) (本時) ・班の中でそれぞれのおすすめ本の「読書マラソン」をする。(☆)

本時のねらい

- ・おすすめ本の内容や魅力を伝える。
- ・他者の発表を聞くことで、様々な種類の本に関心をもつ。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5 分)	1. 本時のめあてを確認する。 「自分のおすすめ本を紹介しよう」 ・本時の流れの確認をする	
展開 (40 分)	2. 発表の練習をする。 ・各班で司会者を 1 名決める。 司会者は、発表後に感想を聞き、進行する。 ・前時で作成した「おすすめ本の紹介文を書こう」の原稿を元に、班の中で 1 人ずつ発表をする。 3. 班全員の発表が終われば、1 冊 3 分程度で、発表された本の「読書マラソン」をする。	・早口にならない、ハキハキと喋るなど、発表時の留意点を伝える。 ・発表する際は、おすすめ本を見せながら発表を行うようにする。 ・司会者と発表者以外は喋らない、発表が終われば拍手をするなど、聞くときの注意事項を伝える。 ・終わった班には、読書マラソンをするよう促す。
まとめ (5 分)	4. 取組みのまとめを行う。 ・各班の司会者が感想を発表する。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・発表の仕方を共有しておくことで、しっかりと発表ができていた。聞き手も興味を持って聞くことができた。生徒からは、「今まで、自分では興味のなかった種類の本について知るいい機会になった」という感想を聞くことができた。「読書マラソン」は、きっかけ作りになったと感じる。改善点としては、紹介文の作成にもう少し時間をかけられていれば、より良い発表につながると感じた。
- ・おすすめ本の発表後に、読書マラソンをしたことにより、興味を持って読むことができた。



班の中で「おすすめの本の紹介」を発表している様子。